

3Dグラフ作成ソフトウェア

Graph-R Plus



ご紹介資料

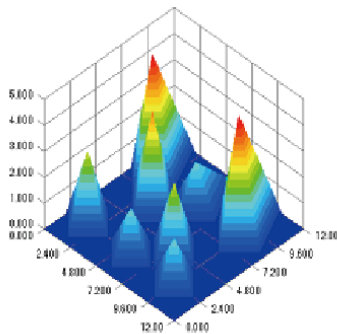
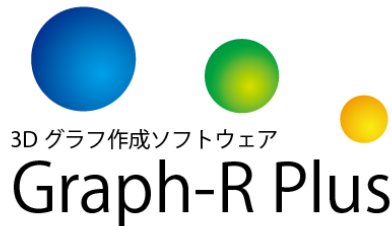


インテグレーションテクノロジー株式会社

目次

1. Graph-R Plus とは
2. ソフトウェア環境
3. Graph-R Plus の仕組み
4. 表示・機能

Graph-R Plus とは



- Graph-R Plusは、Graph-Rをベースにしたソフトウェアで、数値データファイルから3次元のコンター、等高線、ワイヤーフレーム、散布図、ベクトル線図を作成するソフトウェアです。
グラフの設定が簡単にでき、マウスにより視点方向を自由に変更できます。
また、作成したグラフをPNG、JPEG、BMP、GIF、TIFFファイルに保存、クリップボードにコピーが出来ます。数値データのファイルフォーマットは、Graph-Rと同じで、複数のファイルの表示ができます。

ソフトウェア環境

■ オペレーティングシステム

Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10

■ メモリ

512MB 以上の RAM、1GB 以上推奨

■ グラフィック

64MB 以上の VRAM、OpenGL に対応した 3D アクセラレータチップを搭載したもの

※パソコンのスペックによって動作しないことがあります。

(Atom プロセッサなどを搭載したネットブックは、動作しないことがあります。)

■ USBポート

1つ以上の空きポート(USBプロテクトキーにライセンス管理を行います)

Graph-R Plus の仕組み

ファイル



ファイルを選択

ファイル一覧

ファイル名	データ形式
Graph-R Data File	.csv
Graph-R File	.GraphR
Points File	.xyz
STL File	.stl
DXF File	.dxf
Wave Front OBJ File	.obj
NASTRAN File	.nas
IGES File	.igs , .iges
JwCAD File	.jww
VRML File	.wrl



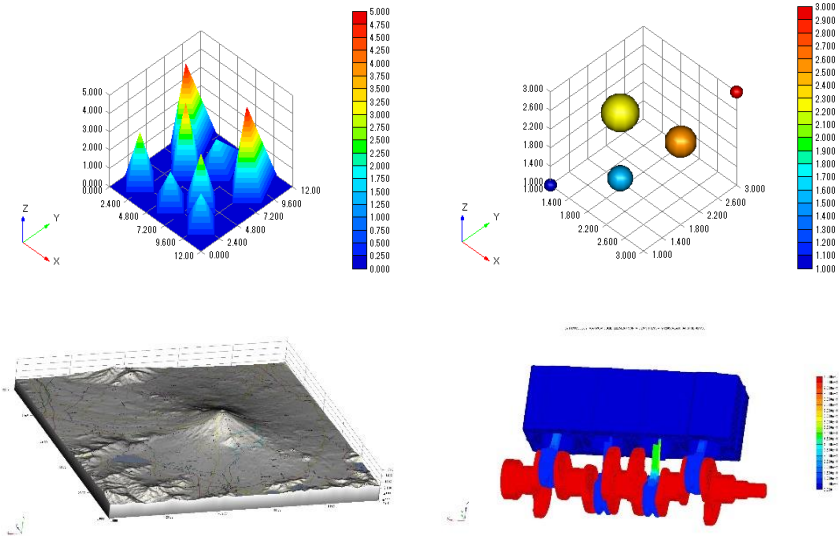
読み込み

Graph-R Plus



グラフを表示

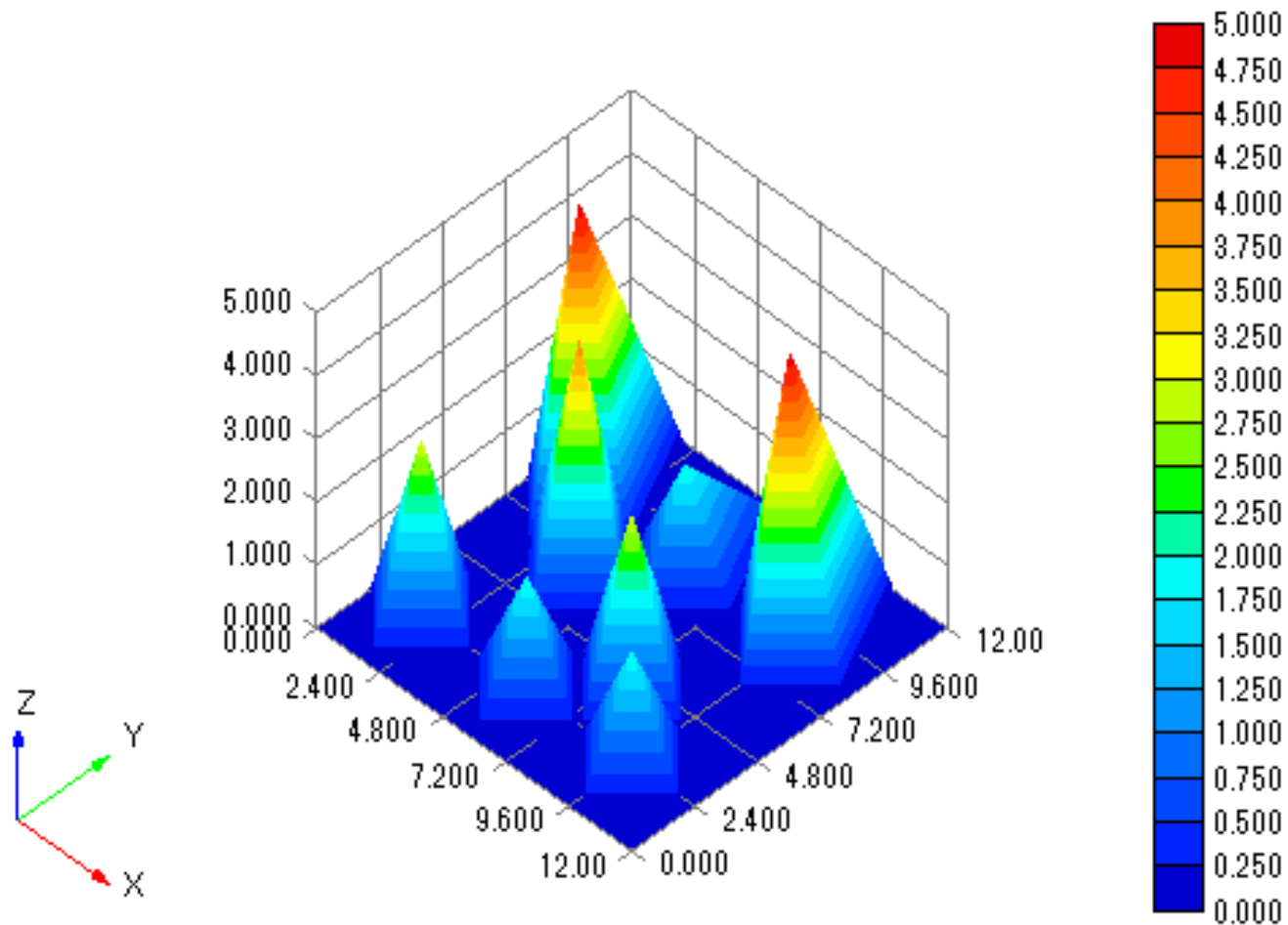
グラフ表示



表示・機能

表示例1： データグラフ

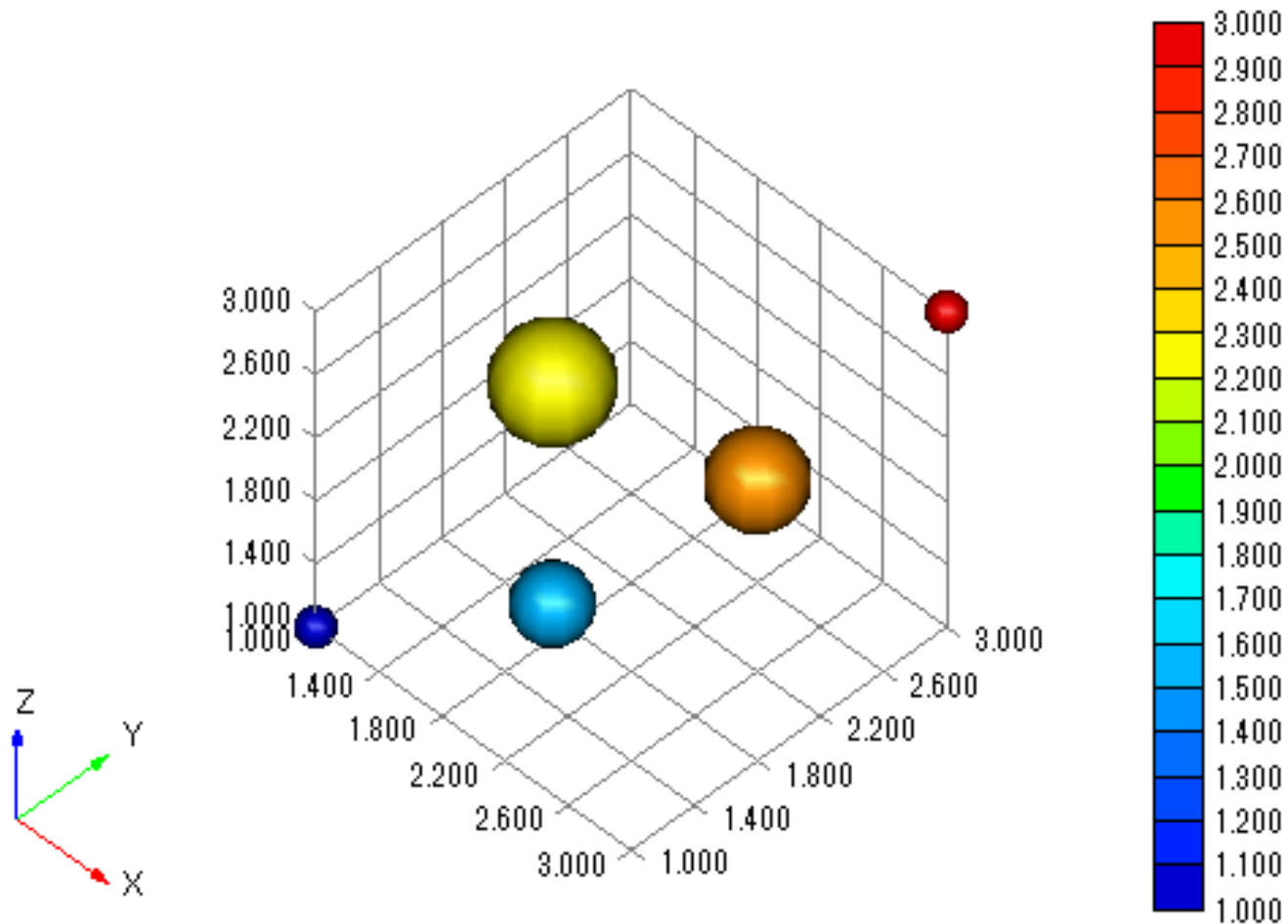
「sample001.csv」を使用



表示・機能

表示例2: データグラフ(バブル)

「sample023.csv」を使用

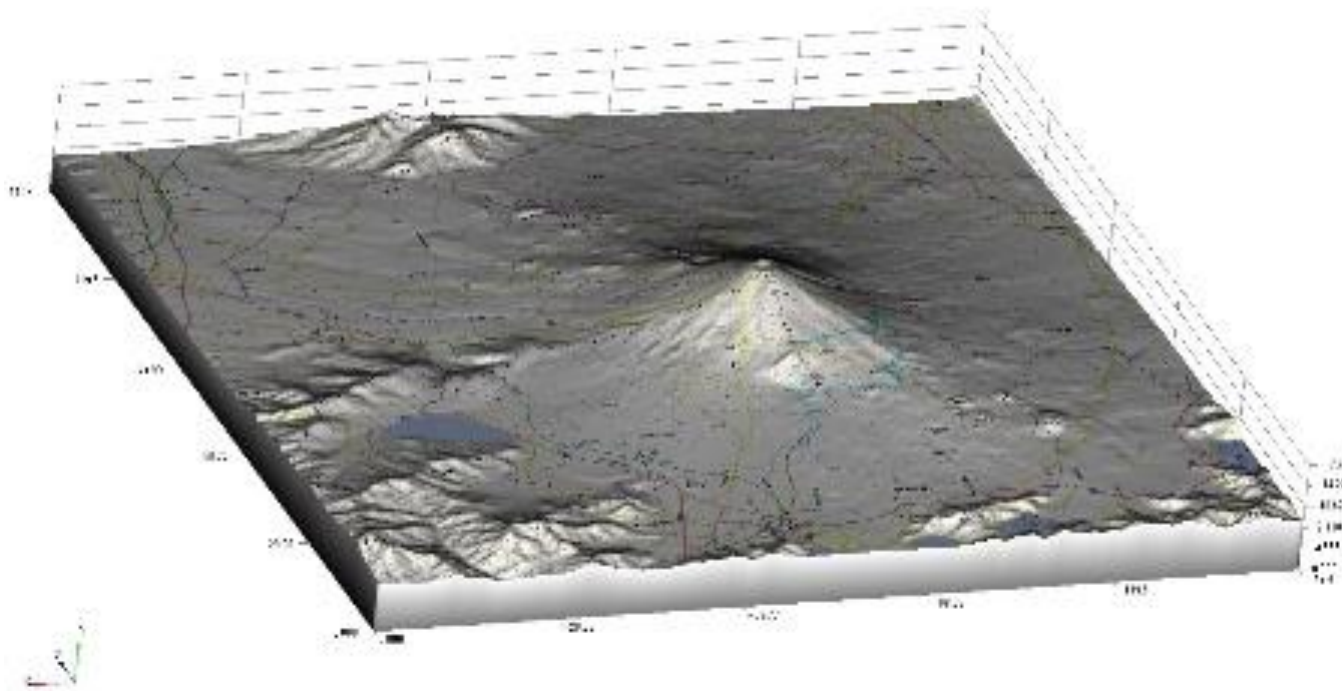


表示・機能

表示例3: VRML(wrl)ファイルの読み込み

「dem.wrl」を使用

※通常のサンプルには含まれておりません。



表示・機能

表示例4： アニメーション

「engine3.GraphR」を使用

※通常のサンプルには含まれておりません。

